

# 青森空港有料道路のあり方について

第1回 青森空港有料道路経営改善検討委員会  
平成27年12月24日

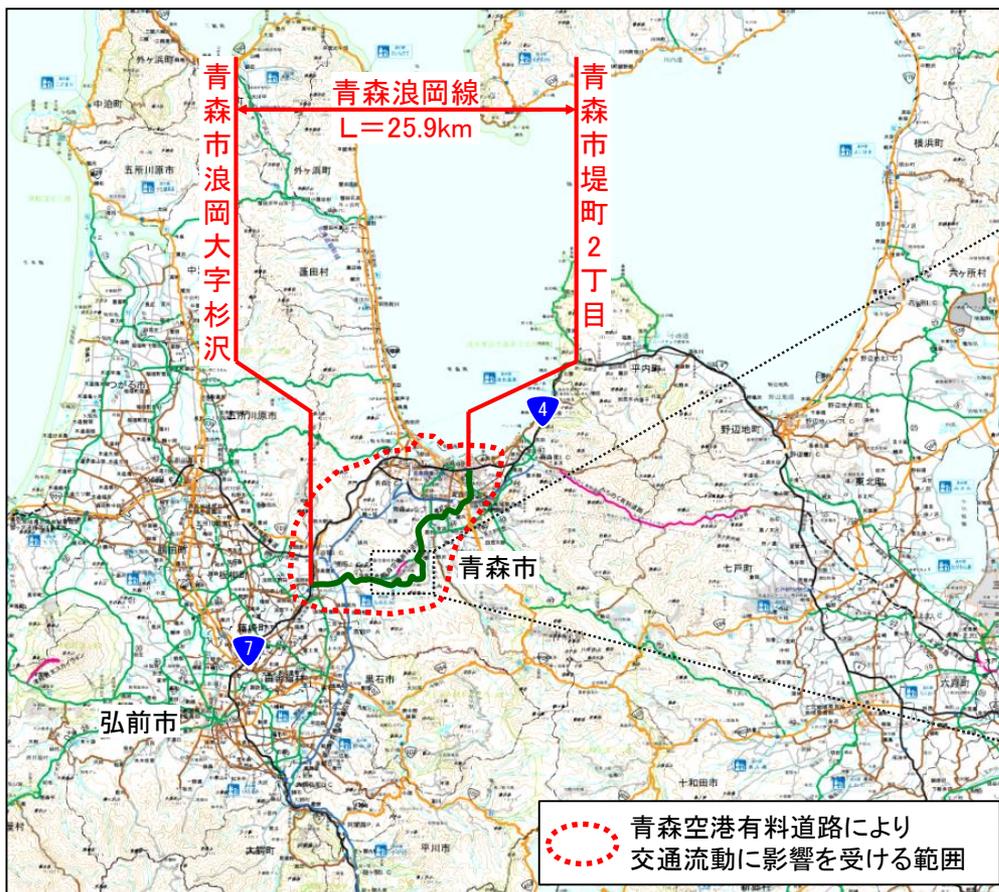
1. 青森空港有料道路の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P.3
2. 青森空港有料道路の交通状況と課題・・・・・・・・・・・・・・・・ P.8
3. 青森空港有料道路の経営状況と課題・・・・・・・・・・・・・・・・ P.15
4. 経営改善に向けた取組状況・・・・・・・・・・・・・・・・ P.19

## 1. 青森空港有料道路の概要

# 1.青森空港有料道路の概要（青森浪岡線の概要）

- 青森浪岡線は青森市堤町2丁目～青森市浪岡大字杉沢<sup>すぎさわ</sup>を結ぶ全長25.9kmの主要地方道である。
- 青森空港周辺は青森浪岡線（現道区間）のバイパスとして「大谷バイパス」<sup>おおたに</sup>、「青森空港有料道路」、「<sup>かれいざわ</sup>王余魚沢バイパス」が整備されている。

## ■位置図



## ■青森空港周辺の道路状況



# 1.青森空港有料道路の概要

- 青森空港有料道路は、青森空港のジェット化に伴い空港へのアクセス道路の整備が必要となり有料道路として建設された。
- 料金徴収期間は30年(平成29年7月18日まで)である。

## ■位置図



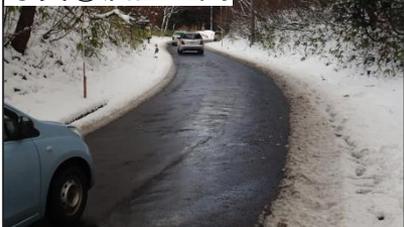
## ■路線の概要

路線名	主要地方道 青森湾線
有料道路区間	自)青森市大字大谷字山ノ内 至)青森市大字大谷字小谷
総事業費	61億円
工期	昭和59年8月～昭和62年9月
供用年月日	昭和62年9月21日
料金徴収期間	30年(平成29年7月18日まで)
道路延長	1.7km
道路の規格	第3種第2級
車線数	2車線
車道幅員	3.25m×2=6.5m
設計速度	60km/h

# 1.青森空港有料道路の概要（周辺道路の概要）

- 青森浪岡線（現道区間）は、幅員5.5～6.0mの2車線道路であり、**最急勾配が10%**と急勾配であるなど、道路線形に課題がある区間である（写真①、②）。王余魚沢地区の人家連たん部では、幅員が狭い区間がある。
- 市道（迂回路）は、幅員が4.0～5.0mの**1.5車線**道路であり、幅員狭小、**急勾配区間**が多く、道路課題が大きい区間である（写真③）。

写真③ 屈曲区間



写真② 急勾配区間



写真① 屈曲区間



## ■ 現道区間、市道の路線概要

路線名	青森浪岡線（現道区間）
道路の規格	第3種第3級
車線数	2車線
車道幅員	2.75～3.0m × 2=5.5～6.0m
設計速度	50km/h
最急勾配	10%

路線名	市道（迂回路）
道路の規格	—
車線数	1.5車線
車道幅員	4.0～5.0m
設計速度	—
最急勾配	13%

# 1.青森空港有料道路の概要

- 青森空港有料道路の支払い方式は、現金、専用カード式回数券、共通回数券の3種類であり、料金徴収のうち**約8割が現金支払**である。

## ■料金表

車種	普通車	大型Ⅰ	大型Ⅱ	軽自動車	軽車両等
料金	210円	330円	750円	150円	20円
障害者割引料金 (現金のみ)	110円	—	—	80円	—

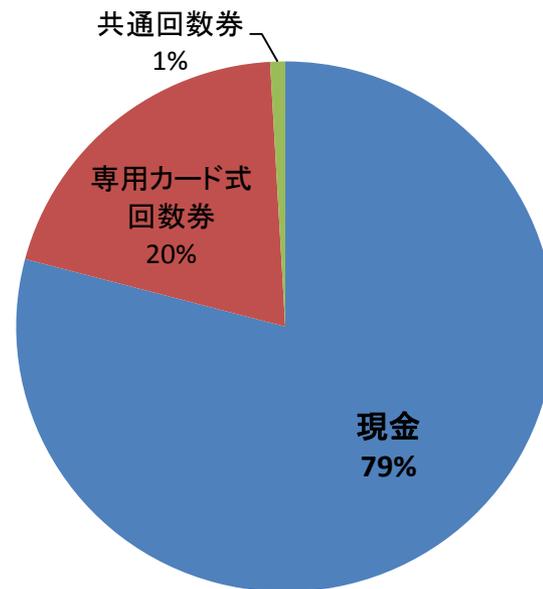
## ■支払い方式

- ・現金
- ・専用カード式回数券(青森空港有料道路のみで使用可)
- ・共通回数券(みちのく・第二みちのく有料道路でも使用可)



専用カード式回数券の見本

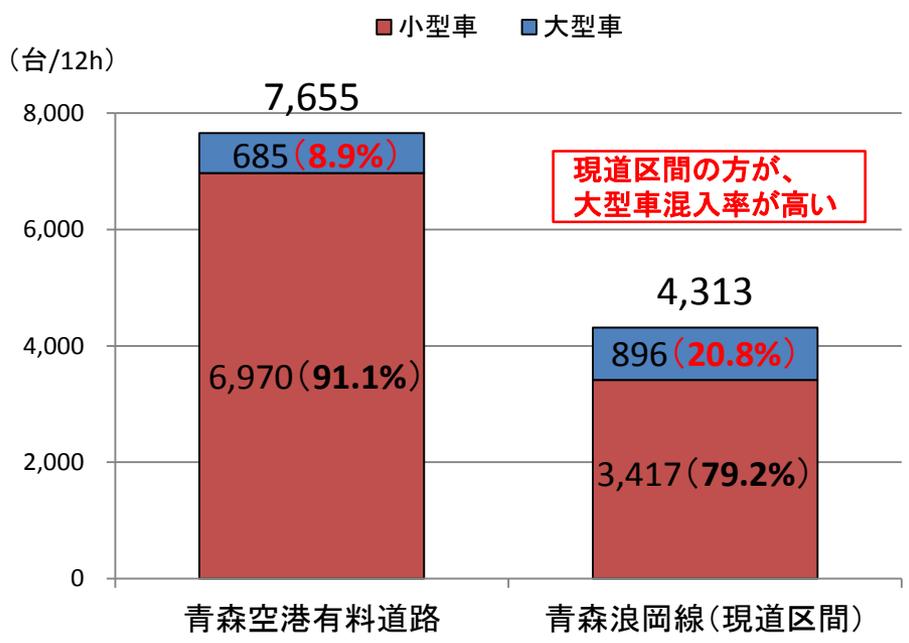
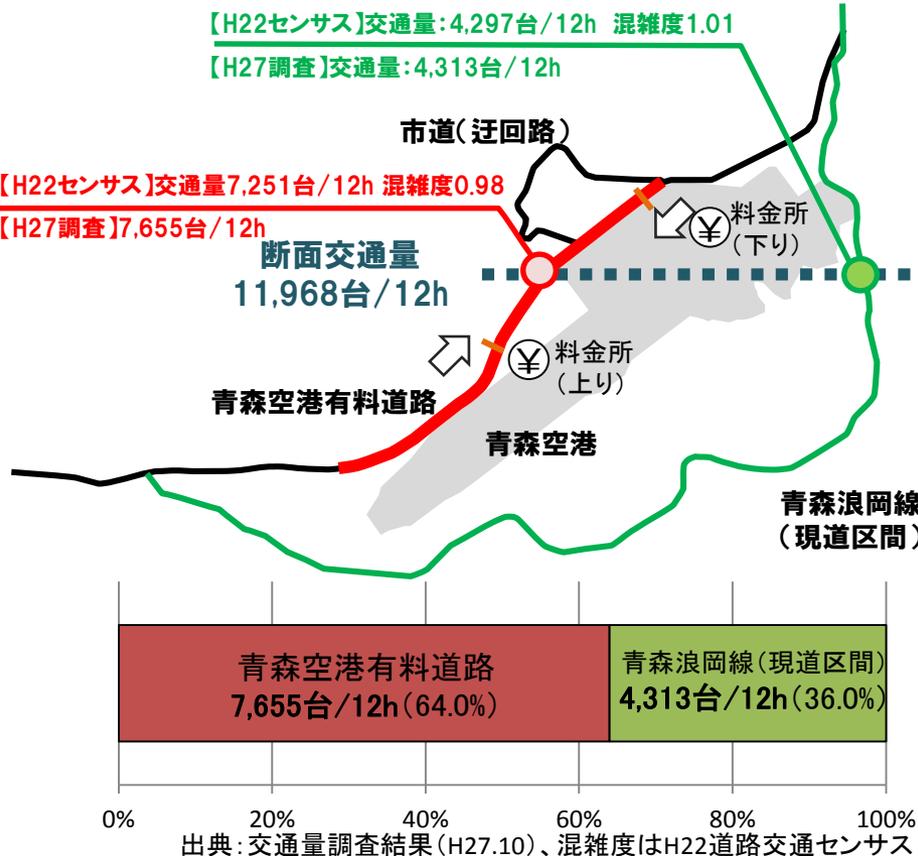
## ■料金徴収の内訳(平成25年度)



## 2. 青森空港有料道路の交通状況と課題

- 青森空港有料道路の昼間12時間交通量は**7,655台/12h**、青森浪岡線(現道区間)が**4,313台/12h**であり、青森空港有料道路の分担率は約6割である。
- 青森空港有料道路の**混雑度は0.98**であり、交通容量と交通需要がほぼ均衡している。
- 青森浪岡線(現道区間)の**大型車混入率が約21%**であるのに対し、青森空港有料道路は**約9%**と低い。

## ■青森空港有料道路、青森浪岡線(現道区間)の交通量の比較 ■大型車混入率の比較



※交通量は昼間12時間交通量  
出典:交通量調査結果(H27.10)

- 青森空港有料道路の過去5年間の利用台数は約4,200台/日であり、車種別の内訳は普通車、軽自動車の割合が高く、大型車の利用が少ない。
- 利用台数の推移は、平成23年は東日本大震災等の影響もあり若干減少しているが、平成22年12月の新幹線開業による利用台数への影響は確認できない。

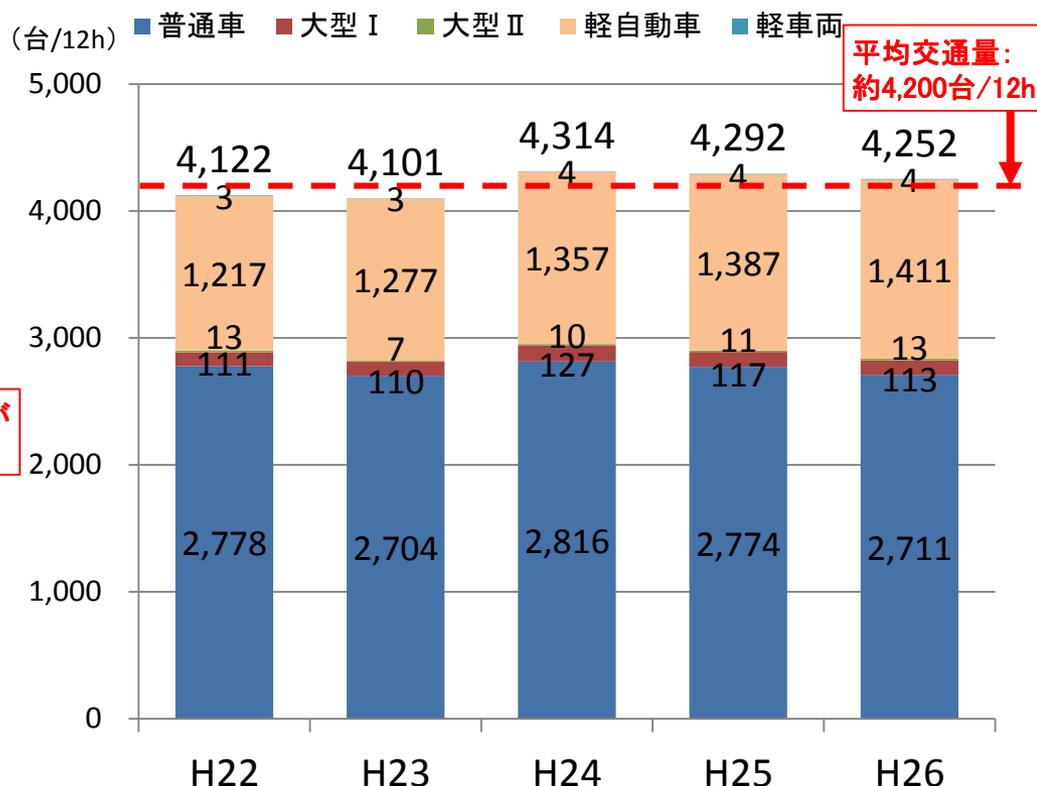
■1日の平均利用台数※と車種内訳

分類	台数	割合
合計	4,216	100.0%
普通車	2,756	65.4%
大型 I	116	2.7%
大型 II	11	0.3%
軽自動車	1,330	31.5%
軽車両	3	0.1%

普通車と軽自動車が9割以上を占める

※過去5年間(H22.4~H27.3)に料金徴収時間帯に料金所を通過した車両の日平均値

■青森空港有料道路利用台数の経年変化

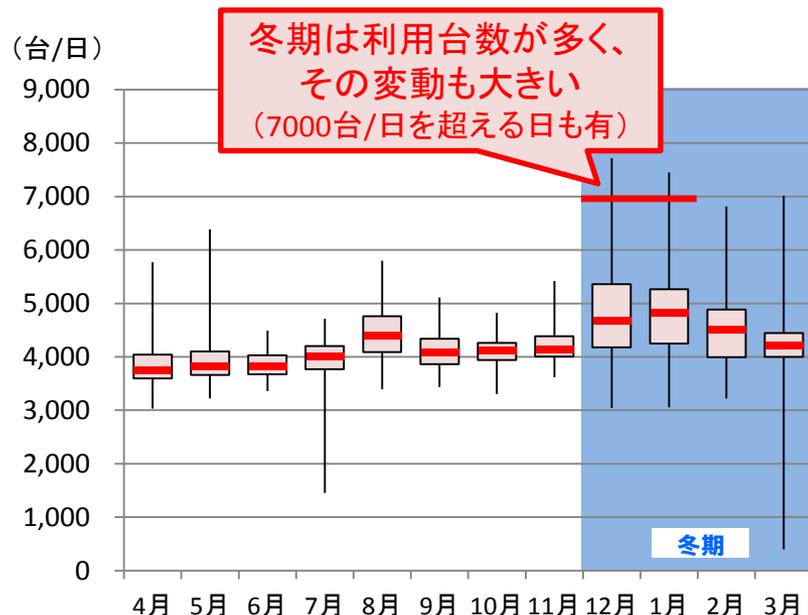


- 青森空港有料道路は除雪により車道が確保されている(写真①)が、青森浪岡線(現道区間)は堆雪により幅員が狭く、一部区間で集落を通過するため安全性に課題がある(写真②、③)。
- 市道(迂回路)は冬期間(弘前方面への)一方通行規制となっている。(写真④)。
- 青森空港有料道路の利用台数は冬期に増加するうえ、**利用台数の変動は冬期に大きく、積雪、凍結等の路面状況悪化時に、走行性の良い青森空港有料道路を利用されている。**

## ■ 冬期の道路状況



## ■ 青森空港有料道路利用台数の季節変動

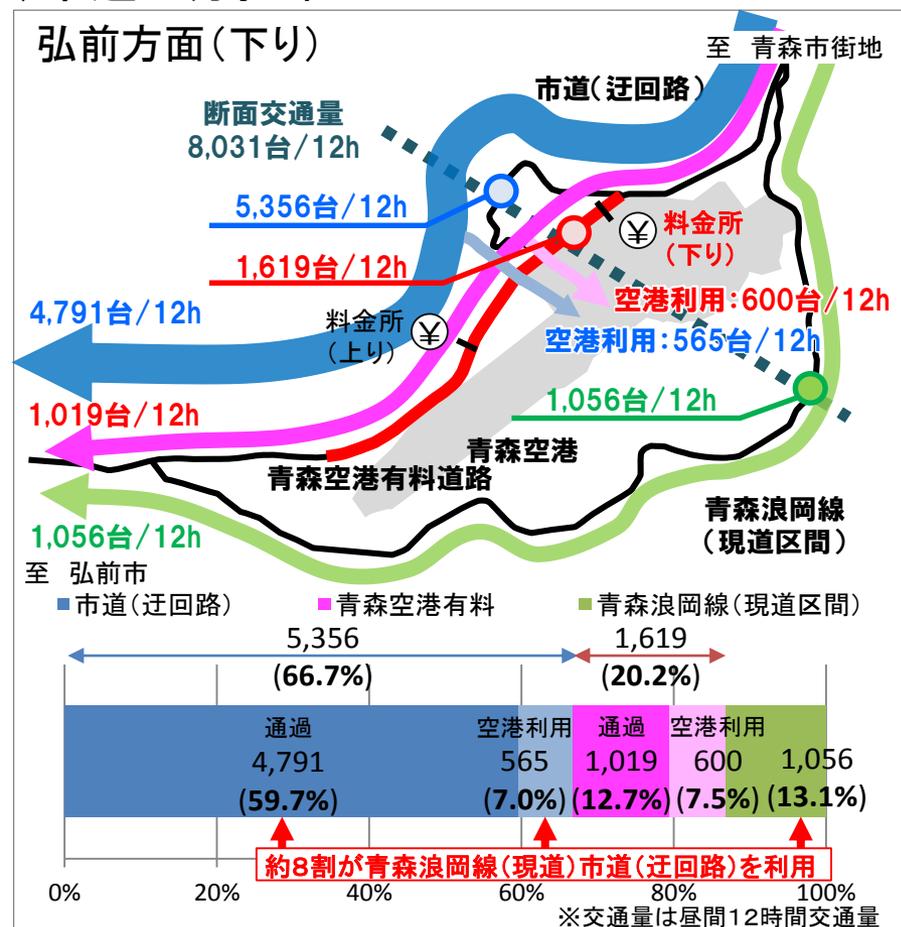
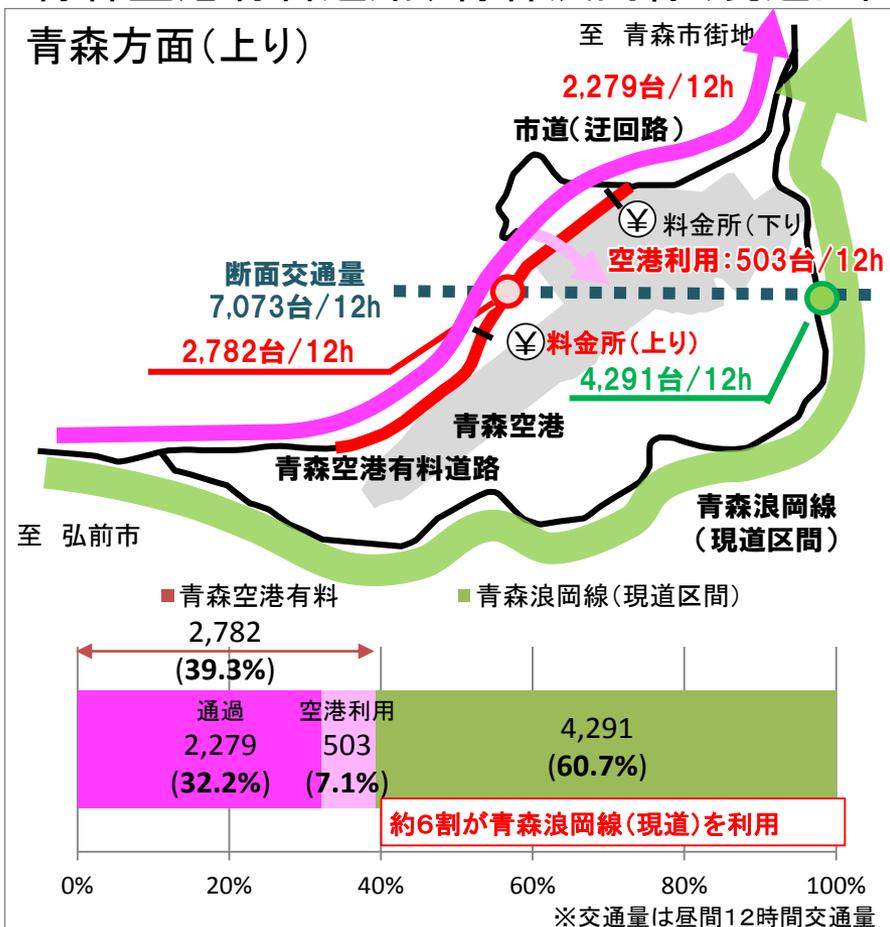


※平成23年4月~27年10月までの料金所通過台数をもとに作成  
出典: 青森道路公社



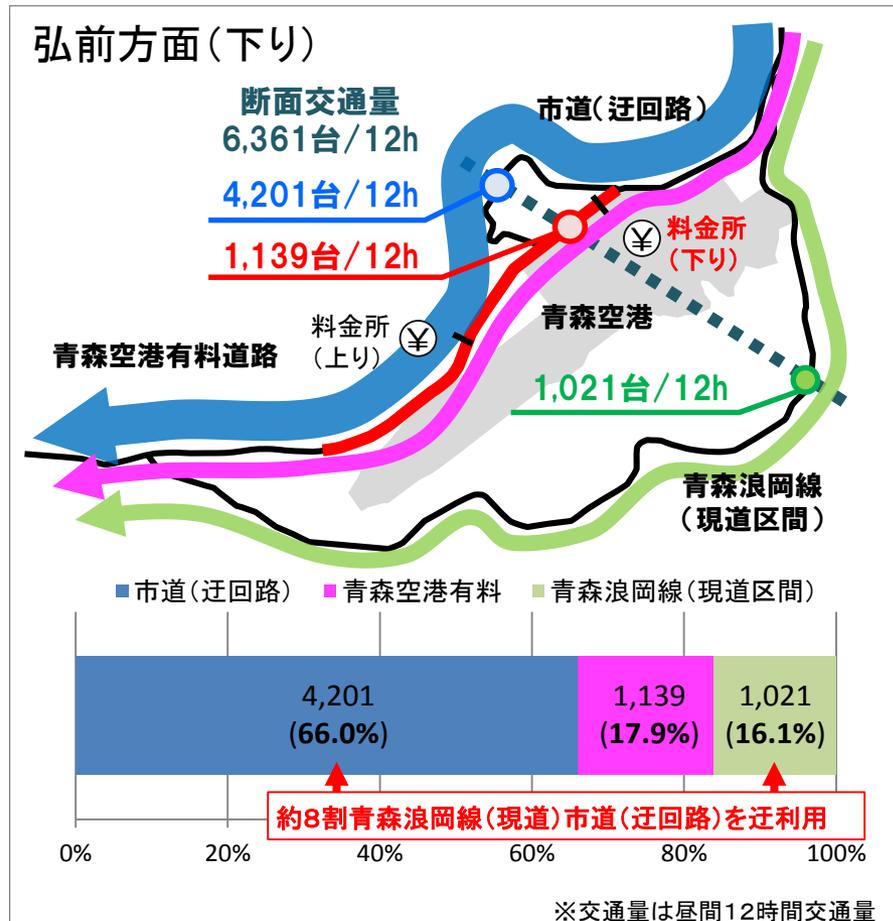
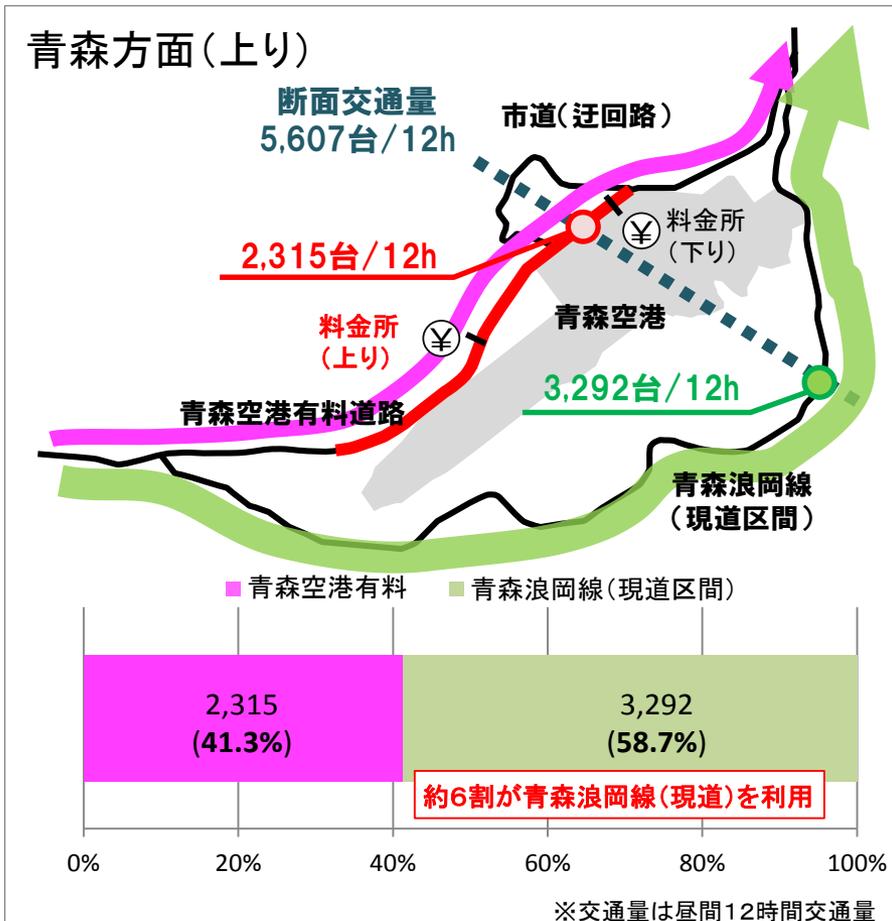
- 青森空港有料道路、市道、青森浪岡線(現道区間)の交通量は、青森浪岡線(現道区間)および市道(迂回路)を通行する交通が多く、青森方面(上り)は約6割、弘前方面(下り)は約8割と、県道及び市道へ迂回する交通が占めている。
- また、青森空港を目的地とする交通は、青森方面(上り)が503台(7%)、弘前方面(下り)が1,165台(15%)である。

## ■ 青森空港有料道路、青森浪岡線(現道区間)、市道の分担率



➤ 通過交通量は、青森方面(上り)は約6割、弘前方面(下り)は約8割が青森空港有料道路を迂回する交通が占めている。

■ 青森空港有料道路、青森浪岡線(現道区間)、市道の分担率



過年度での考察について

➤ 平成20年度において、市道迂回車両からの料金徴収を目的にした社会実験(弘前側への仮設料金所の設置)を考察。

➤ 仮料金所設置に関して下記関係機関との協議を行った。

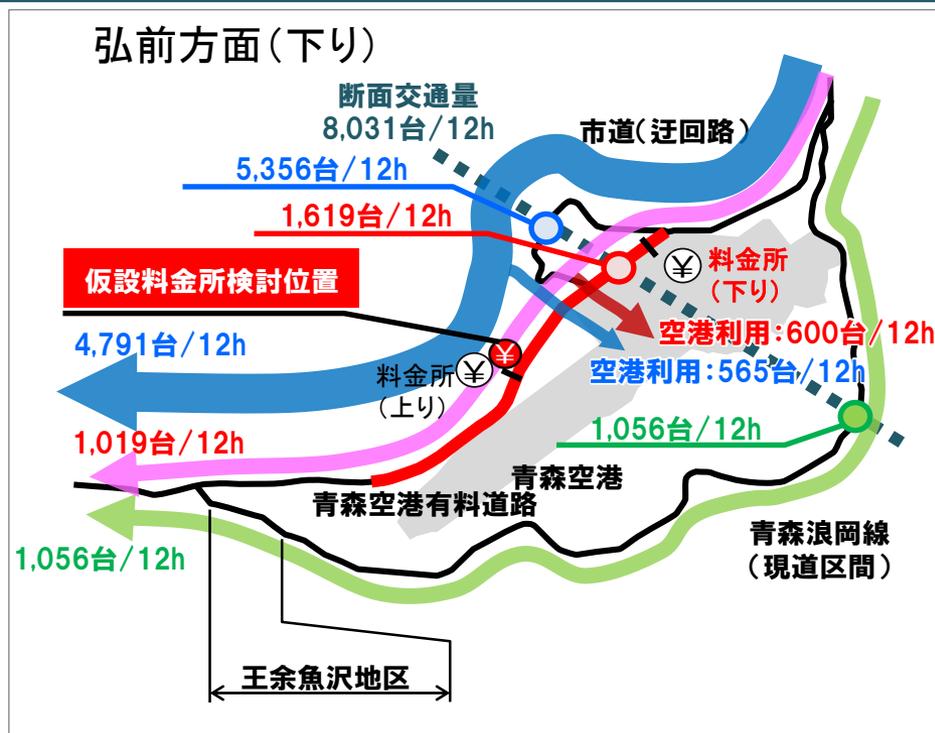
・ 国土交通省

現道の交通量が増大し(現道幅員狭小部沿線の)住民が危険となるようでは、(空港有料道路も含めた)バイパス建設の本来の意味がないことから、現道状況の調査・対応を検討すること。

・ 交通管理者

仮設料金所を設置した場合での800m程度の大渋滞が想定されるため、対策として(仮設料金所付近に)もう1車線を整備が必要。

また、現道交通量の増大対策として、(幅員狭小な)王余魚沢地区の道路整備が必要ではないか。との結果を受け、現道等の現状の施設状況下では実施が困難と判断した。



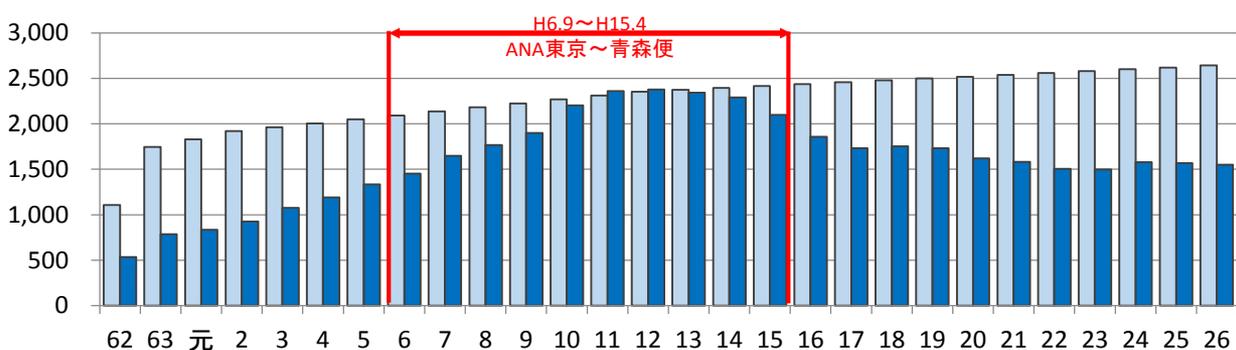
### 3. 青森空港有料道路の経営状況と課題

- 利用台数・料金収入の実績値は、供用と当初より計画値を下回るものの、年々増加傾向であり平成11年に利用台数の実績が計画値を上回った。
- しかしながら、平成12年度をピークに減少傾向に転じ、近年は横ばいの傾向である。
- 平成26年度までの累加交通量は当初計画の約7割、累加料金収入は約6割である。

## ■ 利用台数の計画値と実績値の推移

(千台/年度)

□ 計 画    ■ 実 績



## ■ 利用台数(累加)の計画値と実績値の比較

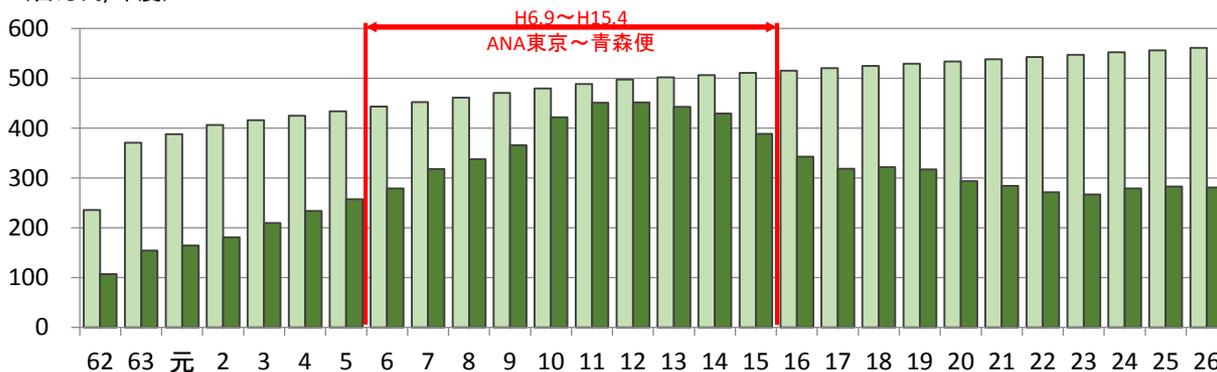
計 画	実 績
63,321(千台)	45,098(千台)
-	(対計画差: △18, 223千台 △28.8%)

※供用後より平成26年度までの累加

## ■ 料金収入の計画値と実績値の推移

(百万円/年度)

□ 計 画    ■ 実 績



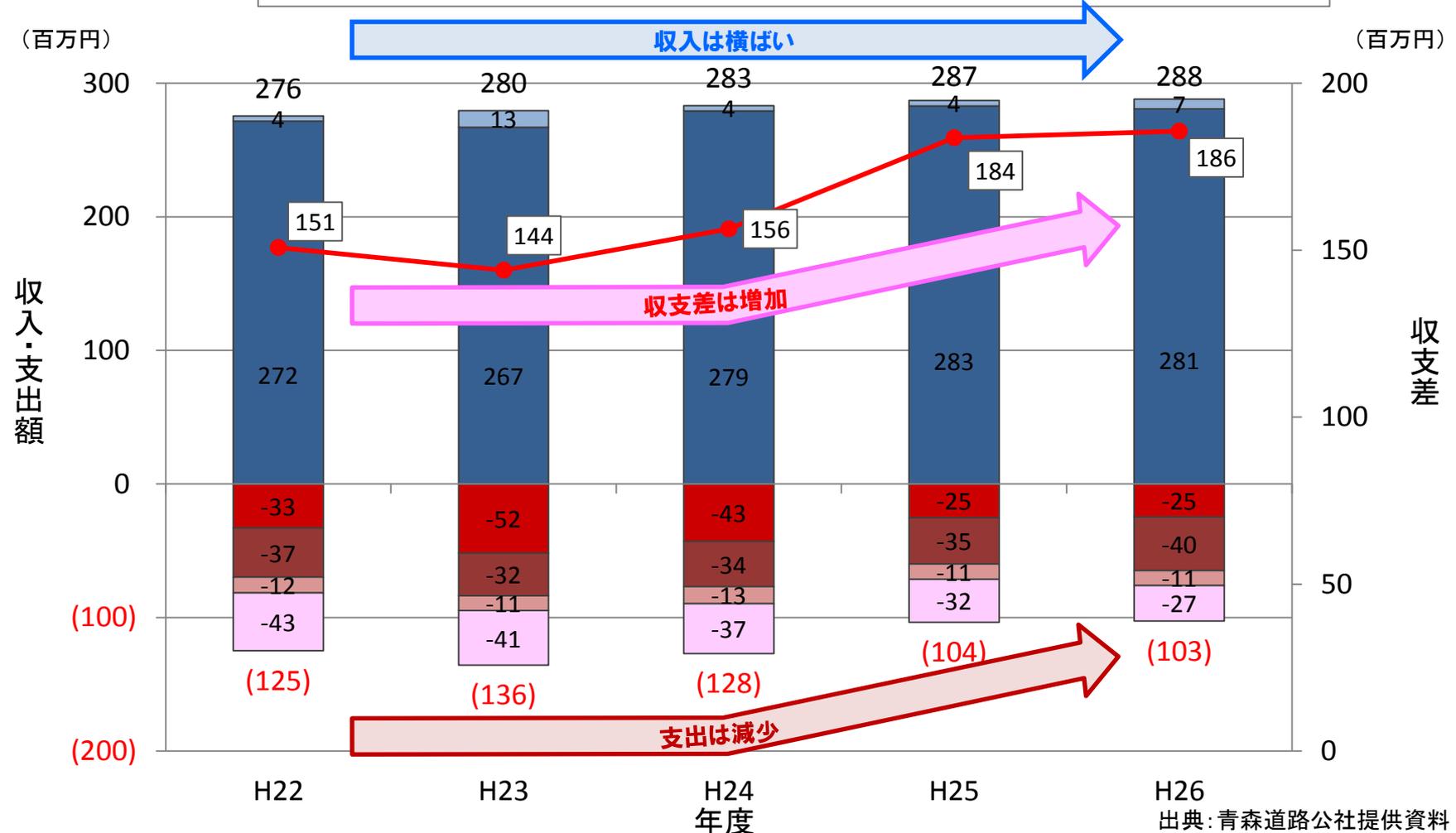
## ■ 料金収入(累加)の計画値と実績値の比較

計 画	実 績
13,411(百万円)	8,451(百万円)
-	(対計画差: △4, 960百万円 △37.0%)

※供用後より平成26年度までの累加

➤ 近年の料金収入が横ばいのため、収入に大きな変化はないが、**包括発注**等により維持費を削減しているため、収支差は増加傾向である。

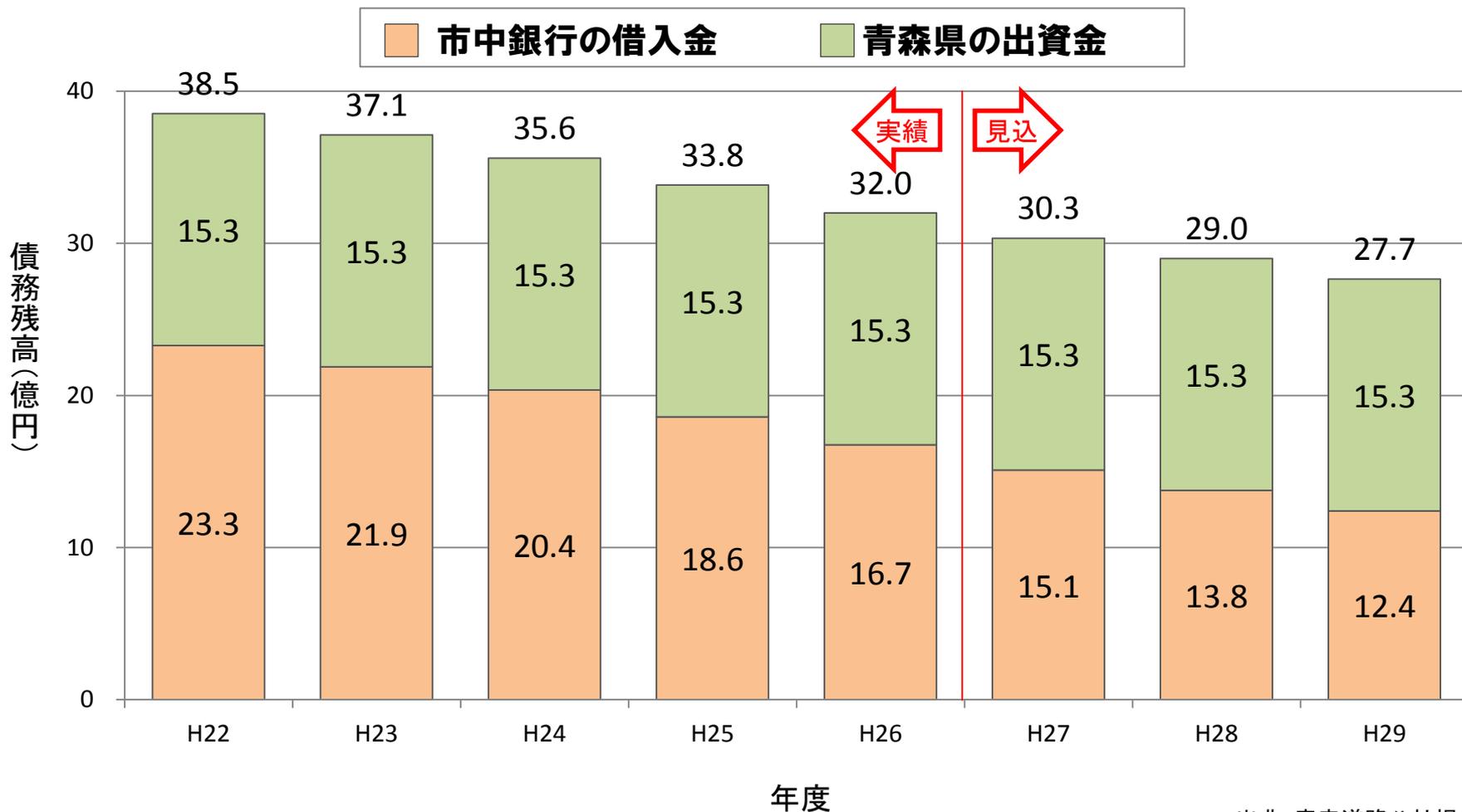
## ■ 収入と支出の推移



出典：青森道路公社提供資料

➤ 債務残高は着実に減少しているが、料金徴収期間である平成29年7月までの償還は困難な状況である。

## ■債務残高の実績と今後の見込み



## 4. 経営改善に向けた取組状況

- 平成21年に有料道路3路線の経営改革に係る検討のため「青森県有料道路経営改革推進会議」が外部委員会として設置された。
- 委員会において、経営効率化等による収支改善により、**着実な債務の圧縮と他有料道路との一体管理によるコスト削減の推進**の提案がなされた。

## ○青森空港有料道路の経営改革策

### 1. 青森空港需要の影響などを踏まえた経営による着実な債務の圧縮

- 青森空港需要や交通量の変動を監視しながら、当面は徹底した効率化による収支改善を進め、着実に残債務を圧縮するように努めること

### 2. 青森空港の道路関連施設との一体管理によるコスト削減の推進

- 青森空港の立体駐車場の維持管理業務を道路公社が県から受託し、青森空港有料道路の維持管理業務とまとめて外部へ委託することで、双方のトータルコストを削減するなどの手法や、接続する県管理道路との連携により、コスト縮減を図ること



これらの提言を受け、青森空港有料道路においては経営改善の取組を推進

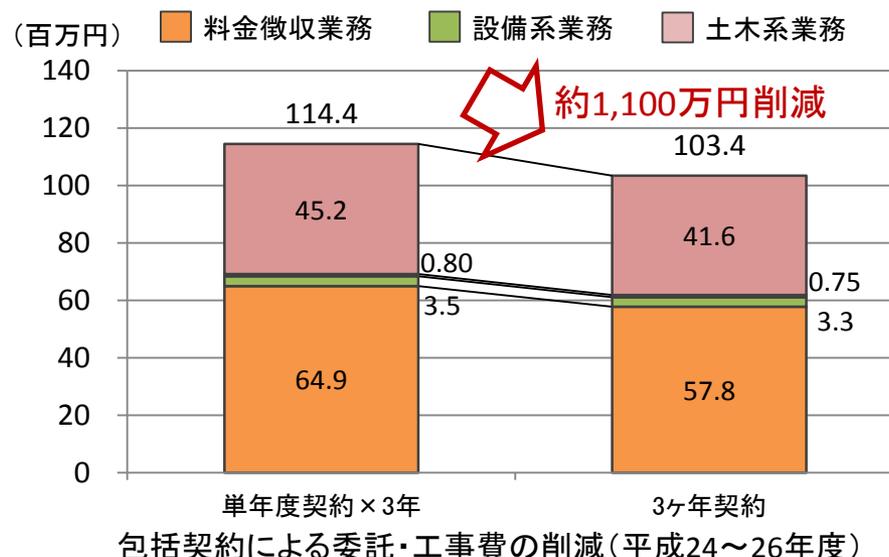
- 経営改善に向けた取組として「**包括発注**」を実施し、債務の圧縮・コスト削減に取り組んでいる。

## ○包括発注によるコスト削減策

委託・工事	削減内容
料金徴収業務委託	➤ 3年一括積算による、経費の削減。
設備系業務 (自家用電気工作物保安、電気保守等)	➤ 公社管理の複数路線と合併発注により、経費の削減。 ➤ 3年一括積算による、経費の削減。
土木系業務 (道路維持保全、修繕等、除雪)	➤ 3年一括積算による、経費の削減。

## ○コストの削減状況

- 包括発注の導入により、平成24～26年度の委託・工事費は約1,100万円削減
- 平成27～29年度においても、包括発注は継続中



- 平成9年より青森空港有料道路の利用者に対し、青森空港駐車場の**基本料金割引サービスを実施**しており、サービスを継続的に行うことで利用促進を図っている。
- 青森空港駐車場の**利用者の約9割が割引サービスを利用**しており、近年は駐車場利用台数は増加傾向である。

## ○青森空港駐車場料金割引サービスの概要

青森空港有料道路の「領収書」または、「回数券受領書」の提示により、駐車場基本料金200円が割引



写真: 割引サービスの案内標識

青森空港駐車場利用件数の推移と割引サービスの利用状況

